

防災まちづくりセッション

テーマ

「事前の備え」としての

「建築士会事前防災活動指針」を考える

運営 | 防災まちづくり部会

平成30年3月、防災まちづくり部会では、「事前の備え」として熊本地震における熊本土会を中心に実施した復旧・復興支援活動を整理し、今後予想される大規模地震災害での迅速で円滑な支援活動を目的に、各士会が事前に取り組むべき防災まちづくり活動として「建築士会事前防災活動指針」をまとめました。その後、平成30年7月に中四国地域を中心に発生した西日本豪雨では、開催地広島でも大きな被害が発生しました。令和元年には、8月の九州北部豪雨に始まり、10月に日本列島を襲った台風19号では東海、関東、東北と広域的に被害が発生しました。さらに、令和2年7月豪雨により熊本県を中心に大きな風水害が発生しました。このように地震災害以外に、毎年のように各地で発災している風水害に対して、令和2年度に連合会では「災害対策特別委員会」を設置して、従来の地震災害対応の指針に風水害対策も加えた「地震風水害対応・建築士会事前防災活動指針」を策定しようとしています。

そこで本セッションでは、被災士会の支援活動状況報告や、すでに「事前の備え」としての防災まちづくりに取り組んでいる活動事例報告を通して、「建築士会事前防災活動指針」の周知と共に、まだ取り組みが出来ていない士会への「きっかけ」となる議論を考えています。また、建築士会の災害に取り組む基本姿勢をまとめた「建築士の災害対応」は、平成14年3月刊行以来改訂がされていません。今年度、全面的な改訂を目標に事例発表者やセッション参加者から、災害に取り組む建築士の基本姿勢についての意見を聞きたいと考えています。



真備被害（和風）



真備被害（洋風）

セッション名	防災まちづくりセッション		
セッション内容・スケジュール等			
防災まちづくりの活動について、東京、岡山、熊本をむすび事例報告を交えてディスカッションを行います。			
司会	米村 博昭	(東京会場)	
部会長	佐藤 幸好	(東京会場)	
アンケート報告	岸武 信行	(岡山会場)	
パネリスト	渡辺 睦	(岡山会場)	
パネリスト	廣田 清隆	(熊本会場)	
趣旨説明	佐藤 幸好	(10分)	10:00開始
アンケート報告	岸武 信行	(10分)	(資料の共有あり)
指針内容報告	佐藤 幸好	(20分)	(資料の共有あり)
熊本被災報告	廣田 清隆	(20分)	(資料の共有あり)
岡山被災報告	渡辺 睦	(20分)	(資料の共有あり)
討議・質疑応答		(35分)	
まとめ	佐藤 幸好	(5分)	12:00終了予定